

平成25年度
武田学園 事業報告書



きよらかに、凛と
学校法人 武田学園

平成25年度武田学園事業報告書

目次

I. 法人の概要	1
1. 武田学園の教育	1
2. 沿革	2
3. 設置校及び所在地	5
4. 役員	6
5. 学生数	6
6. 教職員数	7
7. 組織概要	8
II. 事業の概要	9
1. 学部学科の設置	9
2. 認証評価	9
3. 教育研究活動	9
4. 国際交流	13
5. 社会貢献・地域貢献活動	14
6. 学生支援サービス	16
7. キャンパス整備	16
8. キャリア形成と卒業生の進路・就職状況	17
III. 財務の概要	23
1. 財産目録	23
2. 貸借対照表	24
3. 収支計算書	26
4. 監事の監査報告書	31

I. 法人の概要

1. 武田学園の教育

建学の精神

第二次大戦後の混乱の時代に、故武田ミキは日本の再建のためには「真実に徹した堅実なる女性」の育成こそが急務であると強く感じ、永年の女子教育の経験を生かし、不動の信念と堅い決意をもって、昭和 23 年に本学園を創立しました。

日本女性の持つ伝統的な礼節・慈愛・勤勉という特性を高揚・伸長し、社会風潮に流されることなく、正しく 強く 明るく 生きぬく女性を育成すること、これが本学園の建学の精神です。

学園訓

- 一、真理を究め正義に生き勤労を愛する人になりましょう。
- 一、責任感の強い逞しい実践力のある人になりましょう。
- 一、謙虚で優雅な人になりましょう。

教育方針

学園は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、建学の精神及び「心を育て 人を育てる」という建学の理念に則り、現代社会を支える学問の基礎・基本となる教養と時代の変化・発展に対応できる専門的学問を教授研究し、深い知識と高い識見と豊かな人間性を養い、もって社会の要請に応え得る人間の育成を目的とします。

教育目標

学園は、その理念・目的を踏まえつつ、それぞれの専門的な立場から「正しい判断力とたくましい実践力を身につけた」人材の養成を目指しています。

2. 沿革

昭和23年 3月31日	広島県可部女子専門学校設立認可 設立者武田ミキ校長となる。
昭和23年 4月15日	広島県安佐郡亀山村四日市699番地（高宮中学校内）において同校開校
昭和27年 7月15日	私立学校法第31条の規定に基づき学校法人武田学園設立認可
昭和37年 1月20日	可部女子短期大学（被服科入学定員40人，収容走員80人）設置認可 武田ミキ学長となる。
昭和37年 3月31日	広島県可部女子専門学校廃校
昭和37年 4月 1日	広島県安佐郡可部町大字中島1810番地において可部女子短期大学開学
昭和39年 1月17日	可部女子短期大学に食物栄養科食物専攻，栄養専攻設置認可
昭和39年 2月24日	可部女子短期大学食物栄養科に，「中学校教諭二級普通免許状（家庭）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和39年 3月31日	可部女子短期大学食物栄養科栄養専攻を栄養士養成施設として指定される。
昭和39年 4月 1日	可部女子短期大学食物栄養科開設
昭和40年 1月25日	可部女子短期大学に国文科，英文科設置認可
昭和40年 2月22日	可部女子短期大学国文科，英文科に，「中学校教諭二級普通免許状 国文科に国語，英文科に外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和40年 4月 1日	可部女子短期大学国文科，英文科開設
昭和41年 1月25日	広島文教女子大学文学部（国文学科，英文学科）設置認可 武田ミキ学長となる。
昭和41年 4月 1日	広島文教女子大学文学部国文学科，英文学科に，「高等学校教諭二級普通免許状，中学校教諭一級普通免許状 国文学科に国語，英文学科に外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和41年 4月 1日	広島県安佐郡可部町大字上原1238番地において広島文教女子大学開学
昭和41年 4月 1日	「可部女子短期大学」を「広島文教女子大学短期大学部」と校名変更
昭和42年12月28日	短期大学部食物栄養科「栄養専攻」を「食物栄養専攻」と専攻名変更
昭和44年 2月 8日	短期大学部食物栄養科食物専攻に，「中学校教諭二級普通免許状（保健）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和45年 1月21日	短期大学部に幼児教育学科設置認可
昭和45年 1月24日	短期大学部幼児教育学科を「保母」養成施設として指定される。
昭和45年 2月13日	短期大学部幼児教育学科に，「幼稚園教諭二級普通免許状」授与の資格を得させるための課程認定
昭和45年 2月26日	短期大学部の「国文科」を「国文学科」に，「英文科」を「英文学科」に，「被服科」を「服飾学科」に，「食物栄養科」を「食物栄養学科」に，学科名変更認可
昭和45年 4月 1日	短期大学部幼児教育学科開設
昭和51年 3月29日	広島文教女子大学及び広島文教女子大学短期大学部の聴講生の課程に，教員免許状授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和51年4月1日）
昭和53年 4月 1日	短期大学部服飾学科を「2級衣料管理士」養成大学として認定される（社団法人日本衣料管理協会）。

昭和56年 1月16日	文学部に初等教育学科設置認可
昭和56年 2月10日	広島文教女子大学文学部初等教育学科に、「小学校教諭一級普通免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期、昭和56年4月1日）
昭和56年 4月 1日	文学部初等教育学科開設
昭和58年11月19日	武田学園創立35周年記念式典挙行
昭和60年 2月 9日	広島文教女子大学文学部国文学科に、「高等学校教諭二級普通免許状（書道）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和60年4月1日）
昭和60年 3月26日	大韓民国全州教育大学と広島文教女子大学間における研究及び教育の協力について協定を結ぶ
昭和61年 3月18日	広島文教女子大学大学院設置認可 文学研究科国語学国文学専攻（修士課程）
昭和61年 4月 1日	広島文教女子大学大学院文学研究科国語学国文学専攻開設
昭和62年 3月18日	大学院文学研究科教育学専攻（修士課程）増設認可
昭和62年 4月 1日	大学院文学研究科教育学専攻開設 広島文教女子大学大学院文学研究科国語学国文学専攻に、「高等学校教諭一級普通免許状（国語）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和62年4月1日）
昭和63年 4月 1日	広島文教女子大学文学部初等教育学科に、小学校教諭一級普通免許状授与の資格を得させるための聴講生の課程認定（適用時期 昭和63年4月1日）
昭和63年 5月24日	中華人民共和国大連外国語学院と広島文教女子大学間における研究及び教育の協力について協定を結ぶ。
平成元年 2月14日	文学部初等教育学科に、幼稚園教諭一級普通免許状授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成元年4月1日）
平成元年 4月 1日	文学部に、社会教育主事課程設置
平成元年 4月 1日	文学部に、学芸員課程設置
平成元年 4月 1日	短期大学部「服飾学科」を「生活科学科」に名称を変更
平成 2年 2月20日	大学院文学研究科教育学専攻に、「小学校教諭専修免許状及び幼稚園教諭専修免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成2年4月1日）
平成 2年 4月 1日	短期大学部食物栄養学科食物専攻学生募集停止
平成 3年12月20日	短期大学部食物栄養学科「入学定員50人 収容定員100人」に変更認可（変更時期 平成4年4月1日）
平成 4年 4月 1日	食物栄養学科の専攻課程廃止
平成 5年 3月19日	大学院文学研究科 英米文学専攻（修士課程）増設認可 大学院文学研究科英米文学専攻に「中学校教諭専修免許状 外国語（英語）、高等学校教諭専修免許状 外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成5年4月1日）
平成 5年 4月 1日	大学院文学研究科英米文学専攻開設
平成 6年 4月 1日	短期大学部幼児教育学科学生募集停止
平成 7年12月22日	短期大学部専攻科栄養専攻（修業年限2年）の設置が文部省において受理される。
平成 8年 1月29日	短期大学部専攻科栄養専攻は学位授与機構が定める要件（学位規則第6条第1項）を満たす専攻科として認定される。

平成 8年 4月 1日	短期大学部専攻科栄養専攻開設
平成 8年 5月28日	短期大学部幼児教育学科を廃止
平成11年 3月19日	文学部国文学科, 英文学科に「高等学校教諭一種免許状 国文学科に『国語』『書道』, 英文学科に『英語』, 中学校教諭一種免許状 国文学科に『国語』, 英文学科に『英語』, 初等教育学科に, 「小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状」授与の資格を得させるための課程認定(適用時期 平成11年4月1日)
平成11年 5月31日	4年制大学の充実を図るため「文学部国文学科, 英文学科」及び「短期大学部国文学科, 英文学科」の学生募集を平成12年4月から停止して, 新たに「人間言語学科 (入学定員120人, 編入学定員10人), 人間文化学科 (入学定員120人, 編入学定員10人), 人間福祉学科 (入学定員100人, 編入学定員20人)」の新設を設置申請
平成11年 7月28日	新学科設置申請認可 人間言語学科 入学定員120人, 編入学定員10人, 収容定員500人 人間文化学科 入学定員120人, 編入学定員10人, 収容定員500人 人間福祉学科 入学定員100人, 編入学定員20人, 収容定員440人 (開設時期 平成12年4月1日)
平成11年 8月 5日	学部名の「文学部」を「人間科学部」に名称変更届出
平成11年10月29日	学部名の「文学部」を「人間科学部」に名称変更届出受理 (変更時期 平成12年4月1日)
平成11年12月24日	司書教諭講習科目の相当する授業科目開設について届出受理 (開設時期 平成12年4月1日)
平成12年 2月29日	人間科学部人間言語学科に「高等学校教諭一種免許状, 中学校教諭一種免許状, 国語コースに (国語), 英語コースに (英語)」人間文化学科に「高等学校教諭一種免許状 (書道)」授与の資格を得させるための課程認定 (適用時期 平成12年4月1日) 学部名「文学部」を「人間科学部」に名称を変更
平成12年 4月 1日	既設の文学部国文学科, 英文学科 (2学科は平成12年4月学生募集停止) のほか, 人間科学部に, 人間言語学科 (入学定員120名, 編入学定員10名), 人間文化学科 (入学定員120名, 編入学定員10名), 初等教育学科 (入学定員80名), 人間福祉学科 (入学定員100名, 編入学定員20名) 開設。 短期大学部は, 既設の国文学科, 英文学科 (2学科は平成12年4月学生募集停止), 生活科学科, 食物栄養学科となる。
平成12年12月21日	人間科学部人間福祉学科に「高等学校教諭一種免許状 (福祉)」授与の資格を得させるための課程認定 (適用時期 平成13年4月1日)
平成13年 5月29日	短期大学部英文学科を廃止
平成14年 4月 1日	人間科学部に心理学科 (入学定員70名, 編入学定員10名), 人間栄養学科 (入学定員70名) 開設 短期大学部生活科学科, 食物栄養学科の学生募集を停止する。
平成14年 5月 7日	大学院文学研究科教育学専攻臨床心理学コースに「臨床心理士」受験資格に関する指定 (第2種) を受ける (指定時期 平成15年4月1日, ただし協会指定運用内規により平成14年4月1日から遡及適用)。
平成14年 5月29日	短期大学部国文学科を廃止
平成15年 5月12日	短期大学部生活科学科を廃止
平成16年 4月 1日	人間科学部人間文化学科の学生募集を停止 人間言語学科 (入学定員70名, 編入学定員10名) に再編成 短期大学部専攻科栄養専攻の学生募集を停止

平成16年12月22日	文学部国文学科を廃止
平成17年 3月29日	人間科学部人間栄養学科に「栄養教諭一種免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成17年4月1日）
平成17年 4月 1日	大学院文学研究科の名称を「人間科学研究科」と改称
平成17年 5月16日	独立行政法人大学評価・学位授与機構へ短期大学部専攻科栄養専攻の廃止届出
平成17年 5月30日	短期大学部を廃止
平成17年 7月 6日	人間科学研究科教育学専攻収容定員の変更に伴う学則変更届出 平成18年4月1日国語学国文学専攻入学定員5名（収容定員10名）、英米文学専攻入学定員5名（収容定員10名）の学生募集を停止し、教育学専攻の入学定員10名（収容定員20名）、平成19年4月入学定員15名（収容定員30名）とする。
平成18年 3月31日	文学部英文学科を廃止
平成20年 4月 1日	大学院人間科学研究科人間福祉学専攻を開設
平成21年 4月 1日	人間科学部人間言語学科の学生募集停止
平成22年 4月 1日	人間科学部グローバルコミュニケーション学科（入学定員70人、編入学定員5人）を開設
平成24年 4月17日	人間科学部初等教育学科及び人間福祉学科収容定員の変更に伴う学則変更届出 平成25年4月1日初等教育学科入学定員80名（収容定員320名）を入学定員100名（収容定員400名）、人間福祉学科入学定員100名（収容定員440名（編入学40名））を入学定員80名（収容定員360名（編入学40名））に変更

3. 設置校及び所在地

<大 学> 広島文教女子大学（広島市安佐北区可部東 1-2-1）

人間科学部（人間言語学科、初等教育学科、人間福祉学科、心理学科、人間栄養学科、グローバルコミュニケーション学科）

<大 学 院> 広島文教女子大学大学院（広島市安佐北区可部東 1-2-1）

人間科学研究科（教育学専攻、人間福祉学専攻）

<高等学校> 広島文教女子大学附属高等学校（広島市安佐北区可部東 1-2-3）

全日制課程普通科

<幼 稚 園> 広島文教女子大学附属幼稚園（広島市安佐北区可部東 1-1-15）

4. 役員

(平成 26 年 4 月 1 日現在、理事定数 11 名、現員 11 名、監事定数 2 名、現員 2 名)

理事 (理事長)	武田 義輝	理事 (非常勤)	大越 藤夫
理事 (学長)	角重 始	理事 (非常勤)	児玉 裕志
理事 (校長)	石井 宏佳	理事 (非常勤)	田中 豊實
理事 (園長)	栗屋 一枝	理事 (非常勤)	大内 良治
理事 (学園統括部長)	金本 潔	理事 (非常勤)	栗屋 充博
理事 (非常勤)	桑原 正彦	監事 (非常勤)	友廣 和有
監事 (非常勤)	久保田宏温		

5. 学生数

大学等における 3 年間の在籍状況は、次表のとおりです。(各年度 5 月 1 日現在)

区 分	平成 24 年度			平成 25 年度			平成 26 年度		
	現員	収容 定員	充足率	現員	収容 定員	充足率	現員	収容 定員	充足率
広島文教女子大学	1,256	1,671	0.75	1,291	1666	0.77	1,298	1,666	0.78
大 学 院	13	36	0.36	10	36	0.28	14	36	0.39
人 間 科 学 部	1,243	1,635	0.76	1,281	1630	0.78	1284	1,630	0.79
人 間 言 語 学 科	25	80	0.31	2	--	-	2		
グローバルコミュニケーション 学 科	74	215	0.34	105	290	0.36	128	290	0.44
初 等 教 育 学 科	482	320	1.50	500	340	1.47	495	360	1.38
人 間 福 祉 学 科	195	440	0.44	204	420	0.48	207	400	0.52
心 理 学 科	150	300	0.50	152	300	0.50	151	300	0.50
人 間 栄 養 学 科	317	280	1.13	318	280	1.13	301	280	1.08
広島文教女子大学 附 属 高 等 学 校	538	480	1.12	566	480	1.17	523	480	1.09
広島文教女子大学 附 属 幼 稚 園	109	160	0.68	144	160	0.90	158	160	0.99
計	1,903	2,311	0.82	2001	2306	0.87	1,979	2,306	0.86

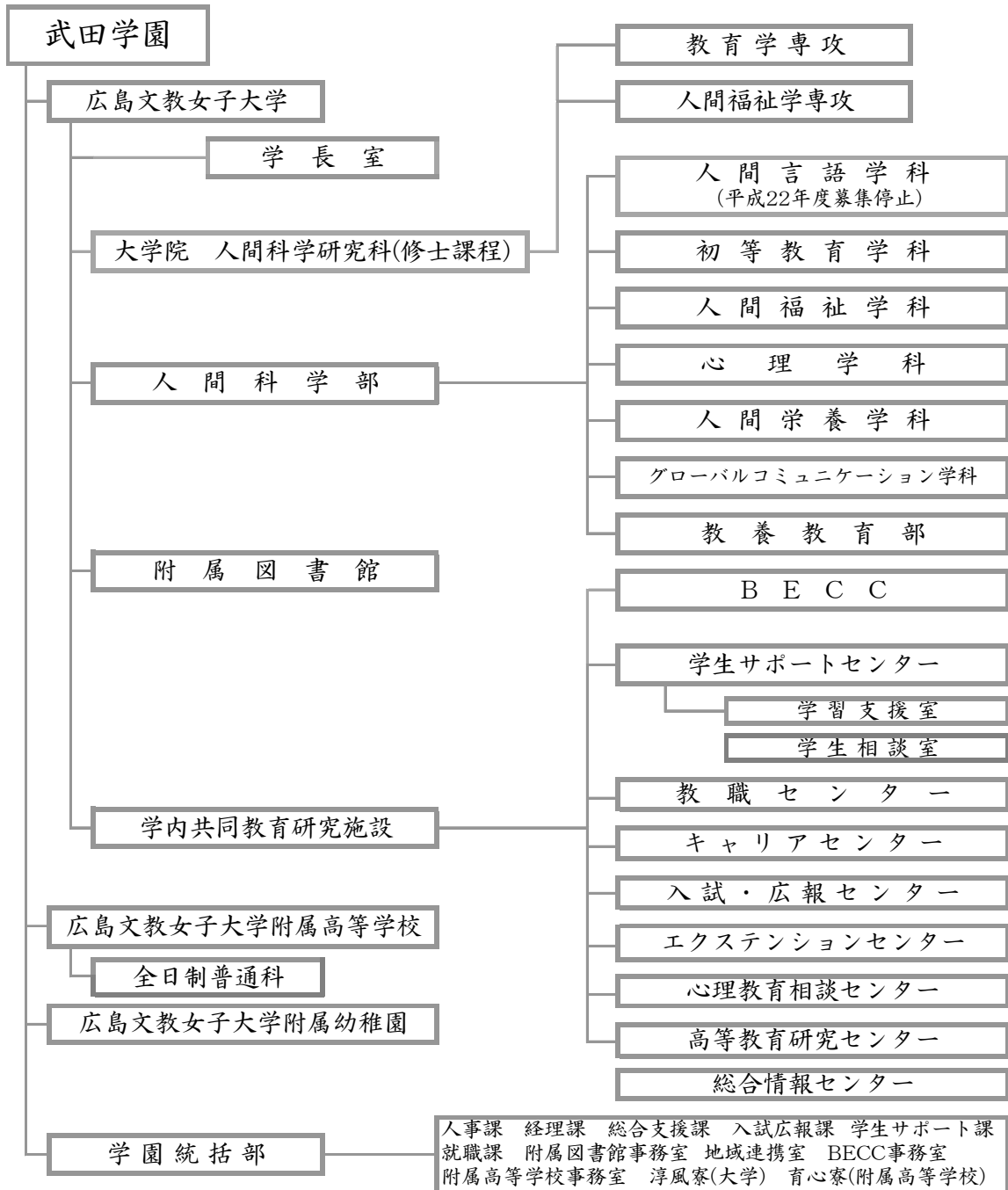
6. 教職員数

(各年度5月1日現在)

区 分	平成 24 年度			平成 25 年度			平成 26 年度		
	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員
広島文教女子大学	93	122	45	92	128	46	90	112	46
附属高等学校	37	17	2	38	18	3	37	18	3
附属幼稚園	7	8	1	10	5	1	9	7	1
計	137	147	48	140	151	50	136	137	50

7. 組織概要（平成26年4月1日現在）

法人組織及び設置する各学校の組織は、次のとおりです。



Ⅱ 事業の概要

1. 学部学科の設置

(1) 学部学科の整備

平成 19 年度新規教育事業として、人間福祉学科に介護福祉士養成コース定員（20 名）の設置認可を申請し、平成 19 年 3 月 7 日付け、文部科学大臣及び厚生労働大臣の連名による指定書を受け取り、平成 19 年 4 月 1 日開設しました。

(2) 学部学科の設置

文部科学省に平成 21 年 6 月 26 日付け届け出た「広島文教女子大学人間科学部グローバルコミュニケーション学科設置届出書」を、平成 21 年 8 月 31 日付け受理（平成 21 年 6 月分）され、平成 22 年 4 月 1 日付けで広島文教女子大学人間科学部グローバルコミュニケーション学科の開設が認められました。

(3) 大学院の改組

平成 17 年度に大学院人間科学研究科教育学専攻の入学定員を 15 名に改訂するとともに、国語学国文学専攻入学定員 5 名及び英米文学専攻入学定員 5 名の学生募集を停止し、平成 18 年度末をもって国語学国文学専攻及び英米文学専攻を廃止しました。

平成 19 年 12 月 3 日付けで大学院人間科学研究科人間福祉学専攻入学定員 3 名の文部科学大臣認可書を受け取り、平成 20 年 4 月 1 日開設しました。

(4) 学科入学定員の変更

平成 25 年度より、初等教育学科と人間福祉学科の入学定員の変更を行いました。（初等教育学科 80 名→100 名、人間福祉学科 100 名→80 名）

2. 認証評価

広島文教女子大学は、平成 24 年 10 月、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、平成 19 年に続いて「大学評価基準に適合している。」と平成 25 年 3 月 12 日付けで認定されました。

3. 教育研究活動

(1) 広島文教女子大学

① 大学ミッション

ア. 広島文教女子大学は、謙虚で優雅な人間性を育むとともに、やさしくあたたかい心で他者を思いやることのできる人を育成します。

イ. 広島文教女子大学は、正しい判断力とたくましい実践力を身につけた人を育成します。

ウ. 広島文教女子大学は、地域とともに成長しつづける大学をめざします。

② 教育活動

カリキュラム改革により、導入教育「大学生活概論」「教養演習」を改編・新設すると共に一般教育科目の再編、専門教育科目の継続的な見直しを行い、より適切

な教育課程の実現に努めています。さらに、特色ある教育内容・方法として、教育理念及び育成すべき人材像を示し、建学の精神・教育理念を周知させる科目「人間科学入門」、社会で生きることを考えさせる科目「人生論」などを設けて、独自の教育の基礎としています。

平成 20 年度より、神田外語大学との連携による B E C C 「英語コミュニケーション総合学習施設」を導入・設置しました。

③ 研究活動

教学系組織の再編に伴い、学内の組織・研究体制に大幅な改革を実施し、効果的に運営するため、努力しています。また、平成 17 年度から「教育・研究活動支援プログラム助成金制度」を設け、「学内版科学研究費助成」「学内版特色 G P 助成」を置くなどして、研究助成と教育研究活動の連携を図りつつ、教育研究活動の活性化を図る体制を整備しています。

さらに、平成 19 年度から教員の研究活動の充実を図るため、研究費の支援や授業及び校務の軽減を図る等の研究支援制度を設け教員の研究活動の士気を鼓舞しています。

④ キャリア教育の導入

本学は、平成 21 年度「大学教育・学生支援推進事業」就職支援プログラム（取組名称：出口を見据えた「心を育て 人を育てる」教育の推進）に応募し、選定されました。この事業は、学生自身の内的キャリアを見極め、それに沿ったキャリアパスを描き、多様に変化する時代にしなやかに、かつ、逞しく対応していく力をつけることを目指したキャリア教育を導入して、教育カリキュラムを補完しつつ、本学の教育理念に沿った人材育成を実現することで、就職力を高めることを目的としたものです。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

① 高等学校ミッション（目指す生徒像）

ア．豊かな心を持ち誠実さにあふれた生徒を育成します。

イ．学ぶことに価値を見出し、より高い目標に挑戦する生徒を育成します。

ウ．さまざまな課題や状況に応じて、最もふさわしい判断と行動ができる生徒を育成します。

② 教育方針

ア．建学の精神に基づいた心の教育の推進

知識と知恵に裏付けされたしなやかな知性を持ち、誠実さにあふれた生徒を育成します。

イ．学力の向上と進路指導

自らが学ぶことに価値を見出し、自学・自習ができ、より高い目標に挑戦する生徒を育成します。

ウ．女性として自立できる教育の実践

さまざまな課題や状況に応じたスピーディかつ的確な判断のもとに、コミュニケーション力を発揮し、リーダーシップのとれる逞しい生徒を育成します。

③ 教育実践

ア. 育心育人教育の推進

- ・人に関わるすべての場面で、他者への「敬意」を念頭に置いた振る舞いのできる生徒を育成します。その表れの一つに、その場にふさわしい「あいさつ」ができることを目指します。具体的には、状況に応じて「立ち止って」品位あるあいさつのできる生徒を育成します。
- ・ソシオ活動・課外活動・特別活動を強力に推進し、成功体験や失敗体験を重ねることによって、生徒一人ひとりの知恵を育むと同時に、人と自由に関わる喜びを感じることができる生徒の育成を目指します。
- ・環境保護に関心をもたせ、それを実践できる生徒を育成します。
- ・教師全員が **Team** として個々の生徒に関わり、あらゆる教育現場（授業、HR、行事、クラブ等）において心を鍛える教育を行います。

② 進路実現をめざす学力向上への取り組み

- ア. キャリア教育を推進し、社会の仕組みを理解させる中で、生徒自身が将来活躍すべき場所を明確に意識できることを目指します。
- イ. 生徒の進路目標が実現できるよう **BFW** と **BLC** を強力に推進し、自学自習のできる生徒を育成します。
- ウ. 明確な将来展望を基盤にして豊富な知識を習得させ、国公立大学をはじめ難関私立大学への進路実現をめざした学力向上に取り組みます。
- エ. 高大連携を強化し、広島文教女子大学との継続的な教育活動をも展開します。
- オ. **BEC C** の活用、海外語学研修修学旅行、留学生との交流等をとおして、積極的に英語を活用していく態度を育て、英語力の向上を図ります。
- カ. 各教科の教職員が **FD** 活動を推進し、**Team** として生徒全員の教科学力の向上を図ります。

③ 女性として自立できる教育の実践（「文教フロンティアスピリット：BFS」の推進）

- ア. 学園創設者 武田ミキ先生の教育理念を継承し、情熱と愛情に満ち溢れた「逞しい前姿」を見せる教育を実践します。
- イ. 知性的で自立した女性を育てるために、「**BFS**（文教フロンティアスピリット）」活動をさらに発展させ、豊かなコミュニケーション能力と強いリーダーシップを養う教育を推進します。

(3) 広島文教女子大学附属幼稚園

① 幼稚園ミッション

心と身体にひびく体験を通して「元気いっぱい笑顔いっぱい」の子どもらしい子

どもを育てています。

② 教育目標

「心豊かで 社会性に富み 自立した子ども」を育てる

③ 教育方針

建学の精神である「心を育て 人を育てる」を柱として、一人ひとりの園児への個別的な配慮のもと、「一人で できた」という体験を積み重ねることにより自立を促し、3つの心「元気な心」「強い心」「やさしい心」を育てています。

3つの心とは

- | | |
|-------|------------------------------|
| 元気な心 | ・夢中になって遊び、みんなと喜びを分かち合える子ども |
| | ・笑顔であいさつできる明るい子ども |
| 強い心 | ・きまりがわかり、我慢強くがんばる子ども |
| | ・たくさんの興味や好奇心を持てる子ども |
| やさしい心 | ・友だちを思いやり、みんなと仲良くできる子ども |
| | ・自分の気持ちや思い、感じたことを素直に表現できる子ども |

④ 教育実践

ア. モンテッソーリ教育の実践

モンテッソーリ教育に切り替え5年目となりました。年少、年中、年長、3年齢混合クラス編成（5クラス）とし、幼児期ならではの体験を積んでいます。

本年も、教職員の指導力を高めるため、引き続き特任教諭の戸田先生（国際ディプロマ資格所有）によるモンテッソーリ教育の園内研修を充実すると共に、教材研究に努めました。それにより、登園後の「自分で選び」「熱中し」「やりとげた喜びを感じられる」チャレンジタイムが30分程延長できるようになり、11時頃まで個別活動をしています。

イ. 分野別活動の実践

月・水・金曜日のチャレンジタイム後、年齢別に分かれてモンテッソーリ教育を踏まえた関わりの分野別（音楽・体育・絵画制作）活動に取り組みました。

⑤ 大学附属としての利点を活用した専門性のある教育内容と支援

ア. リトミック（各年齢にあわせた内容で学期1回）

善本教授のご指導により、ピアノのリズムに合わせて体を動かし、リズム感や自分で判断する力や集中力を身につけながら音や身体表現を楽しみました。

イ. 子育て相談（特別支援教育及び保護者対象の相談活動）

李木教授（臨床心理士）による保護者の子育て相談を月1回開催し、保護者からたいへん喜ばれています。また、園児の実態に応じた指導を行うために、李木教授に職員の園内研修の講師も務めていただきました。

⑥ 絵本、紙芝居の読み聞かせ・絵本の貸し出し

集中力、創造力を高めるために、各クラスごとに毎日絵本、紙芝居に親しんでいます。また、週1回は絵本の貸し出しも実施しています。

⑦ 地域連携推進事業

ア. 野菜栽培による食育推進事業

本年で3年目を迎えるこの事業は、安佐北市役所（健康長寿課・農林課）、安佐北上原上自治会、大学（人間栄養学科）の方々のご協力によります。里芋と落花生の植え付けから収穫までを体験しました。

イ. 地域の教育力の活用

地域の女性会の方々に指導していただいた盆踊りを、園行事の「花火大会」で、女性会の方々と一緒に踊り、夏祭りを楽しみました。

⑧ 子育て支援

ア. こころろフレンズ

入園前の親子を対象とした2歳児向けのモンテッソーリ教育を行っています。

本年は会議室をマジックミラー付きの観察室を備えたこころろフレンズ用の保育室に改装しました。観察室は、保護者が我が子の活動する姿を観察したり、子育ての悩みを語り合える部屋となっています。

1学期は週1回1時間、2学期からは1時間30分の活動ですが、入園受付後は、入園確定した幼児のみを対象にし、次第に活動時間を延ばしていきました。3学期には、お弁当を食べる、在園児のクラス訪問をするなど、安心して4月の入園を迎えられるように、様々な体験を積みました。

イ. 預かり保育の実施

通常保育日は7:30～8:50と14:00～18:00に実施。長期休業中は、7:00～18:00に実施しています。働く保護者が増えていることもあり利用者が増加しています。毎日利用する登録園児は通常は16、17名、夏休みは30名あまりでした。

⑨ 課外活動の充実

保育後の活動として、毎週、月曜日に附属高校生によるサッカー教室、水曜日に日比野教授による書写教室（年長児）、金曜日に外部団体による体育教室を実施しました。

⑩ 保護者のサークル活動

保護者同士の交流のために5つのサークルが活動しています。保護者同士の仲間意識がひろがるとともに、子育てについての情報を交換する場にもなっています。

4. 国際交流

(1) 広島文教女子大学

協定校のアメリカ合衆国オハイオ州立ケント大学においては、夏期研修(2ヵ月)及び長期留学(8ヵ月)で学修した単位を、制度化された単位の読み換え基準に従い、卒業の単位として認定しています。平成21年度から、新たにオーストラリアのクイーンズランド工科大学と夏期休暇中（日本では冬季）に実施される、5週間（2月上旬から3月中旬）の英語学習プログラムを修得できる協定を締結し、修得した単位は、4

単位まで、本学の卒業必要単位として認定されます。

また、平成 25 年度からは、夏期休業期間中にオーストラリアのメルボルンにおいて 22 日間のインターンシップを実施しました。初めての試みである平成 25 年度は、グローバルコミュニケーション学科の学生 10 名と初等教育学科の学生 6 名が、平成 25 年 9 月 3 日から 9 月 24 日の期間で参加しました。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

修学旅行の 1 コースとして、海外ホームステイコースを設定しており、平成 25 年度は 22 名がカナダ、ブリティッシュコロンビア州チリワック市で語学研修とホームステイ（約 14 日間）を経験しました。

留学生受け入れとしましては、今年度はアメリカ・ブラジルの日系 4 世の生徒 6 名が来校されました。

本校生徒と交流し、日本文化に触れ、終日、日本の学校体験をしました。

5. 社会貢献・地域貢献活動

(1) 広島文教女子大学

広島市安佐北区唯一の大学であり、学園創設時の目的に「地域文化向上の一翼を担う」とあるように、創立当初より、地域社会と緊密な関係を持っていました。大学が行っている社会に対する物的・人的資源の提供は、次のようなものが挙げられます。

① 大学施設の開放

体育館、グラウンド、テニスコート、プール、弓道場を各種大会・行事等に教室、ホールを講習会、講演会、検定会場等に貸与し、有効に利用されています。

また、附属図書館は、学術・文化に関わる学習・調査及び研究を目的とする人を対象に公開しています。

② 授業開放、公開講座、講習等

授業開放については、教養教育科目の「人生論」を地域に開放しています。この授業は、各界、各層から様々な講師が、人生の生き方のヒントとなるような講演を行って多くの地域の方々が聴講しています。

公開講座は、30 年間にわたって実施しており、平成 25 年度は 19 講座実施し、地域の人々に親しまれています。

講習等は、司書講習及び教員免許状更新講習を実施しています。

特に、司書講習は、中四国唯一の開催校となっており、毎年多くの受講生が参加しており、修了生も 4,000 名を超えています。

③ ソシオ学校

「ソシオ学校」とは地域社会と連動したより大きな教育システムを形成し、学園の教育活動がそのまま地域貢献となる取組であり、全学園目標の一つとして掲げられています。

各学科において、授業支援ボランティア、放課後グループ、食育啓発、子育て支援等様々な地域貢献行っています。

また、広島市安佐北区役所と、安佐北区内のまちづくり等に関する取組について、包括的な連携協力を行う「地域連携協力に関する協定書」を締結して、お互いの持つ人材・知識・情報などの資源を生かし、活発な活動を行って区民の方々から好評を得ています。

④ 「すずらんひろば高陽」開設

「すずらんひろば高陽」は、広島市地域子育て支援拠点事業として広島市からの補助金を受けて平成24年10月、安佐北区亀崎地区に開設した子育て広場です。子育て広場とは、おおむね3歳ごろまでのお子様をお持ちの方々を対象として子どもを遊ばせながら、周りの人たちとの会話を楽しみ、あるいはゆったりと時間を過ごす中で日頃のストレスを解消したり、子育てに関する悩みを軽減したりすることを意図した広場です。

平日10時から15時まで開設しており、昨年度は大人延べ4,855名、子ども延べ5,689名の計10,544名もの利用者がありました。月を追うごとに利用者数が増加しており、マスメディアにも多く取り上げられ、この半年で高陽地域の子育て支援拠点施設として定着し好評を得ています。

今後は、教育の場としての効果的な活用方法についても検討されています。

⑤ 「島根県雲南広域連合」との地域連携協定

平成25年10月、本学は、「観光」「介護・福祉」「人材育成」「食」を中心に、継続的に協力し取り組んでいく協定を「島根県雲南広域連合」と締結しました。

活動の皮切りに、本学グローバルコミュニケーション学科学生による雲南地域の観光開発の取り組み。『女子旅』をテーマに実地調査、さらに在学学生を対象にアンケート調査を行い、雲南地域の魅力アップのための報告書を提出しました。この活動は引き継がれ、今後はその他の分野でも協力していく予定です。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

「ソシオ学校」(教育活動そのものが地域貢献となる活動)を平成25年度も各クラブ単位で組み込みました。各クラブで生徒を中心に企画し、地域の小学校の行事で実験や演奏の企画、地域のお祭りで茶会や演奏のおもてなし、小学生対象に学習支援や高齢者対象にボランティア演奏会など、各クラブでさまざまな取り組みを行いました。

4月15日の創立記念日には全校生徒が出席し、日頃お世話になっている地域に貢献するため、生徒会の主催で地域清掃活動を行いました。

6. 学生支援サービス

学生の学習及び生活指導などを総合的に実施するための枠組みとして機能することを目的に、平成18年度には校務分掌の改変を行いました。平成20年度からは、入学前教育を含む学習支援として学習支援室を設置しました。

一方、本学の学生に対する経済的支援は、奨学金制度、学納金等優遇減免制度、留学生支援援助制度及び教育ローン利息補給制度があり、それぞれの目的に応じて有機的に機能させています。また、入学試験の成績優秀者を対象とする入学試験スカラシップ制度も整えており、平成24年度から一部の減免率を上げて対象枠を拡大する制度の拡充を行いました。

その他、学生の健康面、心理面、生活面のサポートは、保健室、学生相談室、学生サポート課が緊密な連携を取りつつ行っています。

7. キャンパス整備

(1) 広島文教女子大学

① 図書館にラーニングコモンズ^{*1}設置

本年度は、文部科学省の補助金事業を利用して、「学生の主体的な学修並びに学修習慣を確立、建学の精神に基づく教育目標の達成を図る」ことを目的に附属図書館の学修環境整備を行い、ラーニングコモンズ対応としました。

② アクティブラーニング^{*2}可能とする教室の設置

図書館「ラーニングコモンズ」の設置に追加し、4号館の2階に「アクティブラーニングを可能とする教室」を設置しました。

※1. 「ラーニングコモンズ」：複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」。

※2. 「アクティブラーニング」：教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法。

③ 学内ネットワーク環境構築と専用スタジオの整備

ICT（情報通信技術）の活用推進を図るため、1号館から8号館及び体育館へ基幹となるネットワークを整備しました。各建物にWi-Fiを整備して、学生は学内の殆どの場所から手軽にネットワークにアクセスできるようになりました。

(2) 広島文教女子大学附属高校

総事業費14億7千万円で、平成22年12月着工のサッカーグラウンド整備工事が平成23年11月末に完成、縦105m、横68m、ナイター照明施設や観戦デッキが完備した人工芝のメーングラウンド、その他関連の施設としてクラブハウスやフットサル場、両翼70mのソフトボール場等も整備しました。

(3) 広島文教女子大学附属幼稚園

1 学級増に伴い通園用園バスを 1 台新規購入し、教具・教材も 1 学級分購入しました。また、会議室を観察室付きの「ころころフレンズ」用の保育室に改装しました。

8. キャリア形成と卒業生の進路・就職状況

(1) 広島文教女子大学

平成 26 年 3 月卒業生の就職率は 98.8%となりました。キャリアセンター・就職課では、就職支援と指導の方針を次のとおりとし、学生の希望進路の実現に向けた支援を行いました。

① 小規模大学の強みを活かした個別支援

一人ひとりに向き合う個別支援に重点を置き、きめ細かなサポートを徹底して行いました。個別面談は 3・4 年生の全員面談（前期/後期）の他、学年に関係なくキャリア・コンサルティングが受けられる体制を整えています。

② 女子大ならではのキャリア教育

女性のキャリア形成は結婚・出産などのライフイベントの影響を受けやすく、男性のキャリア形成と異なります。本学では、ライフイベントによって職業人生を中断した場合でも、再びキャリアを継続して形成していく力を育て、真の女性の自立をめざしたキャリア教育を 1 年生から展開しています。

③ キャリアガイダンスの充実

これまでの就職ガイダンスに加え、山口県と島根県の就職希望者を対象にした「Uターン就職ガイダンス」と、高齢化社会に対応する人材としてアピール可能な「認知症サポーター養成講座」を新たに実施しました。また、筆記試験対策講座は基礎から学べるベーシックコースを追加しました。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

本校の卒業生の進路は、次の表に示すように、ほとんどが進学であります。その中でも、近年国公立大学へ進学希望・合格実績も増加しており、平成 25 年度は国公立大学には A・B コース合わせて 14 名が合格しました。

広島文教女子大学への進学志望者も多く、B コースの約 20%が進学しています。

平成 25 年度卒業生も希望進路に向け最後まで努力しよく健闘しました。

本校では、進路の夢をまず大きく広げ、その実現を目指して日々の学校生活を頑張らせる指導を行っています。大学見学や大学模擬授業、附属幼稚園観察実習、一日看護体験実習、介護講習など、自分の夢を確認し、強くできる企画もしています。

また、4 年制大学進学希望者には、大学入試センター試験を受験することを前提とした指導をしており、今年度卒業生の受験者は、225 名中 71 名でした。

平成26年度入試 合格状況

国公立大学

学 校 名	学 部 名	学 科 名	合格者数
愛媛大学	教育	総合人間形成	1
山口大学	人文	人文社会	1
高知大学	人文	人間文化	1
都留文科大学	文	社会/環境コミュニティ創造専攻	1
北九州市立大学	文		1
県立広島大学	経営情報	経営情報	1
		経営	2
	保健福祉	看護	1
	生命環境	環境科学	1
広島市立大学	国際	国際	1
	芸術	デザイン工芸	1
岡山県立大学	保健福祉	看護	1
	デザイン	造形デザイン	1
国公立大学合格者数合計			14

私立大学 県外

学 校 名	学 部 名	学 科 名	合格者数
尚美学園大学	総合政策	ライフマネジメント	2
国際医療福祉大学	保健医療	作業療法	1
桜美林大学	健康福祉	保育	2
北里大学	獣医	動物資源科学	1
神奈川大学	経営	国際経営	2
ヤマザキ学園大学	動物看護	動物看護	1
大正大学	表現	表現文化	1
帝京科学大学	生命環境	アニマルサイエンス	1
名古屋外国語大学	外国語	英米語	1
	現代国際	国際教養	1
桜花学園大学	保育	保育	1
大阪国際大学	人間科学	人間健康科学	1
		スポーツ行動	1
関西外国語大学	外国語	英米語	1
大阪成蹊大学	教育	教育	1

天理大学	体育	体育	1
倉敷芸術科学大学	生命科学	生命科学	1
川崎医療福祉大学	医療福祉	保健看護	1
	医療技術	健康体育	1
中国学園大学	子ども	子ども	1
九州産業大学	芸術	デザイン	1
九州保健福祉大学	保健科学	言語聴覚療法	2
県外私立大学合格者数合計			26

私立大学 県内

学 校 名	学 部 名	学 科 名	合格者数
広島文教女子大学	人間科学	グローバルコミュニケーション	11
		初等教育	15
		人間福祉	17
		心理	3
	小 計	46	
近畿大学	工	建築	2
広島文化学園大学	学芸	子ども	5
		健康福祉	4
	看護	看護	1
比治山大学	管理栄養	管理栄養	3
	現代文化	マスコミュニケーション	1
広島経済大学	経済	経済	3
		経営	4
		ビジネス情報	1
		メディアビジネス	2
広島工業大学	工	建築工	1
	情報	知的情報システム	1
広島修道大学	人文	英語英文	4
		人間関係／教育学専攻	1
		人間関係／社会学専攻	2
	法	国際政治	3
		法律	6
	経済	現代経済	1

	人間環境	人間環境	4
広島女学院大学	国際教養	国際教養	4
	人間生活	生活デザイン	4
安田女子大学	文	英語英米文	1
		書道	1
		日本文	2
	心理	心理	2
	現代ビジネス	現代ビジネス	3
	看護	看護	1
	家政	生活デザイン	5
広島国際大学	医療経営	医療経営	2
	医療福祉	医療福祉/介護福祉学専攻	1
	薬	薬	1
	総合リハビリテーション	リハビリテーション/理学療法学専攻	2
		リハビリテーション/作業療法学専攻	1
		リハビリテーション/言語聴覚療法学専攻	1
		リハビリテーション支援/義肢装具学専攻	1
看護	看護	8	
広島都市学園大学	健康科学	看護	2
		リハビリテーション/理学療法学専攻	3
		リハビリテーション/作業療法学専攻	2
エリザベト音楽大学	音楽	演奏	1
日赤広島看護大学	看護	看護	3
県内私立大学合格者数合計			146

私立短期大学

学 校 名	学 科 名	合格者数
創価女子短期大学	英語コミュニケーション	1
	現代ビジネス	1
神戸女子短期大学	食物栄養	1
岩国短期大学	幼児教育	1
環太平洋短期大学	人間発達	1
広島文化学園大学短期大学	コミュニティ生活	3
	保育	5
	食物栄養	1

山陽女子短期大学	臨床検査	2
	人間生活	1
	食物栄養	1
鈴峯女子短期大学	食物栄養	1
比治山女子短期大学部	美術	2
	総合生活デザイン/生活創造コース	3
	総合生活デザイン/栄養士養成コース	2
私立短期大学合格者数合計		26

専門学校

学 校 名	専 攻 名	進学者数
東京スクールオブミュージック専門学校	音楽テクノロジー	1
東名古屋病院附属リハビリテーション学院		1
ESPミュージカルアカデミー	ミュージシャン	1
駿台観光&外語専門学校	エアライン	1
辻調理専門学校	調理マネジメント	1
松江総合医療専門学校		1
岩国YMCA専門学校	保健看護	2
YIC公務員専門学校	公務員	1
広島県立三次看護専門学校	第一看護	1
小井出ファッションビューティ専門学校	ファッション・デザイン	2
福祉ソースカレッジ広島	福祉	1
トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校	介護福祉	2
	保育社会福祉	1
	臨床工学	1
広島YMCA専門学校	ホスピタリティ	3
	医療事務科	1
広島情報ビジネス専門学校	総合ビジネス科	3
広島ビジネス専門学校	キャリアビジネス科	2
広島リゾート&スポーツ専門学校	健康スポーツ科	1
広島製菓専門学校	洋菓子科	3
広島デンタルアカデミー専門学校	歯科衛生士科	1
広島コンピュータ専門学校	音響技術	1
	ビジュアルデザイン科	1
広島ビューティーアート専門学校	トータルビューティー科	1

広島外語専門学校	総合英語学科	1
石田あさきトータルファッション専門学校	トータルファッション学科	1
穴吹情報デザイン専門学校	グラフィックデザイン	1
代々木アニメーション学院	声優タレントコース	1
IGL医療専門学校	鍼灸	1
IGL健康福祉専門学校	介護福祉	1
安佐準看護専門学校		4
専門学校合格者数合計		44

就職

会社等名		就職者数
航空自衛隊一般候補生		1
株式会社 ニチイ学館		1
株式会社 サルボ両備		1
株式会社 田部		1
株式会社 ビショウ		1
株式会社 ミツヤ		1
株式会社 源吉兆庵		1
有限会社 ワールド		1
社会福祉法人 かつぎ会		1
カワシマ興産 株式会社		1
就職者数合計		10

Ⅲ.財務の概要 (平成 25 年度決算状況)

1. 財産目録

財産目録(平成26年3月31日現在)		
I 資産総額		11,098,950,896 円
内 基本財産		8,305,206,349 円
運用財産		2,793,744,547 円
収益事業用財産		－ 円
II 負債総額		1,207,108,922 円
III 正味財産		9,891,841,974 円
区 分		金 額
資産額		
1 基本財産		
土地	151,233㎡	2,757,131,640 円
建物	43,711㎡	3,725,462,423 円
図書	244,963冊	1,095,036,457 円
教具・校具・備品	18,447点	233,660,023 円
その他		493,915,806 円
2 運用財産		
現金預金		2,170,764,931 円
その他		622,979,616 円
3 収益事業用財産		
		－ 円
資産総額		11,098,950,896 円
負債額		
1 固定負債		
長期借入金		138,210,000 円
退職給与引当金		408,307,754 円
2 流動負債		
短期借入金		10,020,000 円
未払金		130,944,520 円
前受金		498,694,500 円
預り金		20,932,148 円
負債総額		1,207,108,922 円
正味財産(資産総額－負債総額)		9,891,841,974 円

2. 貸借対照表

貸借対照表については、次表のとおりです。

資産の部合計 11,098 百万円、前年比 135 百万円 (1.2%) 増加し、その内訳は、固定資産が 264 百万円減少した一方、流動資産が 400 百万円増加となりました。負債の部合計は、1,207 百万円、前年比 84 百万円 (7.6%) 増加となりました。基本金の部合計は 15,789 百万円、前年比 121 百万円 (0.8%) 増加となりました。

貸借対照表				
平成26年 3月31日				
(単位 円)				
資 産 の 部	科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	
		増	減	
固定資産		(8,743,937,069)	(9,008,765,660)	(△ 264,828,591)
有形固定資産		< 8,434,386,881 >	< 8,547,291,382 >	< △ 112,904,501 >
土地		2,886,312,172	2,886,745,772	△ 433,600
建物		3,725,462,423	3,867,730,813	△ 142,268,390
構築物		480,213,102	518,691,253	△ 38,478,151
教育研究用機器備品		217,344,005	164,566,938	52,777,067
その他の機器備品		16,316,018	12,264,962	4,051,056
図書		1,095,036,457	1,087,328,042	7,708,415
車両		13,702,704	9,963,602	3,739,102
その他の固定資産		< 309,550,188 >	< 461,474,278 >	< △ 151,924,090 >
電話加入権		1,828,300	1,828,300	0
施設利用権		4,583,013	5,057,840	△ 474,827
出資金		685,100	664,400	20,700
ソフトウェア		27,586,565	24,922,958	2,663,607
有価証券		0	154,690,000	△ 154,690,000
長期貸付金		2,558,000	2,618,000	△ 60,000
退職給与引当特定預金		220,000,000	220,000,000	0
第3号基本金引当特定預金		52,000,000	51,500,000	500,000
敷金		155,400	155,400	0
預託金		153,810	37,380	116,430
流動資産		(2,355,013,827)	(1,954,959,300)	(△ 400,054,527)
現金預金		2,170,764,931	1,914,934,261	255,830,670
未収入金		177,722,160	32,887,125	144,835,035
短期貸付金		0	300,000	△ 300,000
貯藏品		3,977,909	3,737,274	240,635
仮払金		870,645	222,000	648,645
前払金		1,678,182	2,878,640	△ 1,200,458
資 産 の 部 合 計		11,098,950,896	10,963,724,960	135,225,936

(単位 円)			
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	(546,517,754)	(556,842,689)	(△ 10,324,935)
長期借入金	138,210,000	148,230,000	△ 10,020,000
退職給与引当金	408,307,754	408,612,689	△ 304,935
流動負債	(660,591,168)	(565,990,688)	(△ 94,600,480)
短期借入金	10,020,000	10,020,000	0
未払金	130,944,520	25,837,838	105,106,682
前受金	498,694,500	500,041,500	△ 1,347,000
預り金	20,932,148	30,091,350	△ 9,159,202
負債の部合計	1,207,108,922	1,122,833,377	84,275,545
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	15,550,396,596	15,429,276,879	121,119,717
第3号基本金	52,000,000	51,500,000	500,000
第4号基本金	187,000,000	187,000,000	0
基本金の部合計	15,789,396,596	15,667,776,879	121,619,717
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	5,897,554,622	5,826,885,296	70,669,326
消費収支差額の部合計	△ 5,897,554,622	△ 5,826,885,296	△ 70,669,326
科 目			
	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	11,098,950,896	10,963,724,960	135,225,936

(注記)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 減価償却額の累計額の合計額 | 7,082,011,837 円 |
| 2. 徴収不能引当金の合計額 | 0 円 |

3. 収支計算書

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書は、次表のとおりです。

資金収支計算書			
平成25年 4月 1日 から			
平成26年 3月31日 まで			
			(単位 円)
収入の部	予 算	決 算	差 異
科 目			
学生生徒等納付金収入	(1,683,039,400)	(1,683,022,311)	(17,089)
授業料収入	1,108,950,400	1,110,955,050	△ 2,004,650
入学金収入	134,416,000	134,476,000	△ 60,000
入学手続金収入	34,860,000	34,900,000	△ 40,000
実験実習料収入	27,443,000	26,118,761	△ 1,324,239
施設設備資金収入	375,786,000	374,990,500	△ 795,500
教材費収入	1,584,000	1,582,000	△ 2,000
手教科収入	(30,444,050)	(29,525,090)	(918,960)
入学検定料収入	26,591,000	25,827,000	△ 764,000
試験料収入	570,000	336,000	△ 234,000
証明手教科収入	653,450	790,350	△ 136,900
大学入試センター試験実施手教科収入	2,629,600	2,571,740	△ 57,860
寄付金収入	(25,020,000)	(15,387,905)	(9,632,095)
特別寄付金収入	5,000,000	2,312,905	△ 2,687,095
一般寄付金収入	20,020,000	13,075,000	△ 6,945,000
補助金収入	(560,484,091)	(536,077,534)	(24,406,557)
国庫補助金収入	307,827,000	291,341,000	△ 16,486,000
地方公共団体補助金収入	252,657,091	244,736,534	△ 7,920,557
資産運用収入	(8,120,101)	(8,190,072)	(69,971)
受取利息・配当金収入	7,481,244	6,692,022	△ 789,222
施設設備利用料収入	216,857	754,180	△ 537,323
地代収入	422,000	743,870	△ 321,870
資産売却収入	(154,860,000)	(154,860,000)	(0)
有価証券売却収入	154,860,000	154,860,000	0
事業収入	(135,189,896)	(159,037,296)	(23,847,400)
補助活動収入	116,948,896	145,016,296	△ 28,067,400
受託事業収入	8,600,000	3,600,000	△ 5,000,000
公開講座収入	8,279,000	8,579,000	△ 300,000
免許状更新講習料収入	1,362,000	1,842,000	△ 480,000
雑収入	(158,275,843)	(160,496,926)	(2,221,083)
私立大学退職金財団交付金収入	126,257,624	127,917,924	△ 1,660,300
広島県私学振興財団等交付金収入	19,118,980	21,145,832	△ 2,026,852
研究関連収入	720,000	813,000	△ 93,000
損害保険金収入	5,943,412	5,943,412	0
その他の雑収入	6,235,827	4,676,758	△ 1,559,069
借入金等収入	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
短期借入金収入	5,000,000	5,000,000	0
前受金収入	(552,668,500)	(498,694,500)	(53,974,000)
授業料前受金収入	251,869,000	233,911,000	△ 17,958,000
入学金前受金収入	168,330,000	126,640,000	△ 41,690,000
入学手続金前受金収入	40,700,000	33,720,000	△ 6,980,000
施設設備資金前受金収入	84,745,000	86,925,000	△ 2,180,000
補助活動前受金収入	6,900,000	17,381,000	△ 10,481,000
その他の雑収入前受金収入	124,500	117,500	△ 7,000
その他の収入	(34,120,262)	(34,120,262)	(0)
前期末未収入金収入	32,887,125	32,887,125	0
長期貸付金回収収入	60,000	60,000	0
短期貸付金回収収入	300,000	300,000	0
立替金回収収入	873,137	873,137	0
資金収入調整勘定	(△ 635,041,500)	(△ 677,763,660)	(42,722,160)
期末未収入金	135,000,000	177,722,160	△ 42,722,160
前期末前受金	△ 500,041,500	△ 500,041,500	0
前年度繰越支払資金	(1,914,934,261)	(1,914,934,261)	0
収入の部合計	4,627,114,904	4,521,582,497	105,532,407

				(単位 円)
支 出 の 部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	(1,598,207,515)	(1,584,925,714)	(13,281,801)	
教員人件費支出	1,119,650,104	1,095,480,813	24,169,291	
職員人件費支出	289,577,265	292,429,474	△ 2,852,209	
役員報酬支出	19,500,000	23,413,745	△ 3,913,745	
退職金支出	169,480,146	173,601,682	△ 4,121,536	
教育研究経費支出	(462,272,675)	(445,269,276)	(17,003,399)	
旅費交通費支出	68,566,753	67,999,494	567,259	
福利費支出	170,000	159,950	10,050	
消耗品費支出	75,586,902	77,968,838	△ 2,381,936	
燃料費支出	1,165,851	835,813	330,038	
印刷製本費支出	19,840,901	15,763,042	4,077,859	
光熱水費支出	68,166,603	66,551,067	1,615,536	
修繕費支出	30,980,032	40,888,829	△ 9,908,797	
通信運搬費支出	11,054,418	8,833,805	2,220,613	
保険料支出	4,502,482	4,830,587	△ 328,105	
公租公課支出	796,086	418,619	377,467	
負担金支出	27,874,556	30,340,881	△ 2,466,325	
会議費支出	333,652	327,824	5,828	
奨学費支出	91,051,911	89,115,727	1,936,184	
保健衛生費支出	15,421,214	12,178,042	3,243,172	
賃借料支出	28,578,101	11,793,252	16,784,849	
講師謝礼支出	4,813,054	4,349,675	463,379	
海外研修費支出	2,591,274	1,298,374	1,292,900	
雑費支出	10,128,885	10,965,457	△ 836,572	
建物除却費支出	650,000	650,000	0	
管理経費支出	(271,008,509)	(242,612,978)	(28,395,531)	
報償費支出	8,575,555	5,446,261	3,129,294	
旅費交通費支出	10,403,049	9,275,265	1,127,784	
交際費支出	2,857,021	1,356,466	1,500,555	
福利費支出	2,787,992	4,169,342	△ 1,381,350	
消耗品費支出	18,147,624	13,045,496	5,102,128	
燃料費支出	327,974	0	327,974	
印刷製本費支出	24,264,392	20,083,368	4,181,024	
光熱水費支出	577,247	904,013	△ 326,766	
修繕費支出	5,666,374	4,539,516	1,126,858	
通信運搬費支出	5,727,879	4,278,707	1,449,172	
保険料支出	338,010	145,775	192,235	
公租公課支出	7,251,954	3,640,981	3,610,973	
負担金支出	24,232,834	19,137,503	5,095,331	
会議費支出	94,359	50,370	43,989	
広告費支出	61,844,836	58,580,909	3,263,927	
保健衛生費支出	160,033	303,367	△ 143,334	
賃借料支出	8,656,846	4,938,861	3,717,985	
講師謝礼支出	22,222	0	22,222	
雑費支出	1,155,925	804,521	351,404	
補助活動仕入支出	87,796,383	91,792,257	△ 3,995,874	
私立大学等経常費補助金返還金支出	120,000	120,000	0	
借入金等利息支出	(2,394,714)	(2,394,714)	(0)	
借入金利息支出	2,394,714	2,394,714	0	
借入金等返済支出	(15,020,000)	(15,020,000)	(0)	
借入金返済支出	15,020,000	15,020,000	0	
施設関係支出	(40,126,900)	(28,543,315)	(11,583,585)	
建物支出	37,000,000	24,818,650	12,181,350	
構築物支出	3,126,900	3,724,665	△ 597,765	
設備関係支出	(173,583,352)	(127,040,595)	(46,542,757)	
教育研究用機器備品支出	140,189,853	97,071,873	43,117,980	
その他の機器備品支出	6,335,600	7,116,480	△ 780,880	
図書支出	11,057,899	8,143,742	2,914,157	
車両支出	8,000,000	7,060,300	939,700	
ソフトウェア支出	8,000,000	7,648,200	351,800	

				(単位 円)
科 目	予 算	決 算	差 異	
資産運用支出	(525,000)	(520,700)	(4,300)	
出資金支出	25,000	20,700	4,300	
第3号基本金引当資産への繰入支出	500,000	500,000	0	
その他の支出	(43,682,634)	(38,313,434)	(5,369,200)	
預託金支出	50,000	116,430	△ 66,430	
前期末未払金支払支出	25,837,838	25,837,838	0	
前払金支払支出	5,921,659	1,678,182	4,243,477	
立替金支払支出	873,137	873,137	0	
仮払金支払支出	5,000,000	648,645	4,351,355	
預り金支払支出	6,000,000	9,159,202	△ 3,159,202	
(予備費)	(4,248)			
(予備費)	24,995,752		24,995,752	
資金支出調整勘定	(△ 42,878,640)	(△ 133,823,160)	(90,944,520)	
期末未払金	△ 40,000,000	△ 130,944,520	90,944,520	
前期末前払金	△ 2,878,640	△ 2,878,640	0	
次年度繰越支払資金	(2,038,176,493)	(2,170,764,931)	(△ 132,588,438)	
支出の部合計	4,627,114,904	4,521,582,497	105,532,407	

(2) 消費収支計算書

消費収支計算書は、次表のとおりです。

消費収支計算書

				(単位 円)
消費収入の部	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金	(1,683,039,400)	(1,683,022,311)	(17,089)	
授業料	1,108,950,400	1,110,955,050	△ 2,004,650	
入学金	134,416,000	134,476,000	△ 60,000	
入学手続金	34,860,000	34,900,000	△ 40,000	
実験実習料	27,443,000	26,118,761	1,324,239	
施設設備資金	375,786,000	374,990,500	795,500	
教材費	1,584,000	1,582,000	2,000	
手数料	(30,444,050)	(29,525,090)	(918,960)	
入学検定料	26,591,000	25,827,000	764,000	
試験料	570,000	336,000	234,000	
証明手数料	653,450	790,350	△ 136,900	
大学入試センター試験実施手数料	2,629,600	2,571,740	57,860	
寄付金	(27,320,000)	(19,248,747)	(8,071,253)	
特別寄付金	5,000,000	2,312,905	2,687,095	
一般寄付金	20,020,000	13,075,000	6,945,000	
現物寄付金	2,300,000	3,860,842	△ 1,560,842	
補助金	(560,484,091)	(536,077,534)	(24,406,557)	
国庫補助金	307,827,000	291,341,000	16,486,000	
地方公共団体補助金	252,657,091	244,736,534	7,920,557	
資産運用収入	(8,120,101)	(8,190,072)	(△ 69,971)	
受取利息・配当金	7,481,244	6,692,022	789,222	
施設設備利用料	216,857	754,180	△ 537,323	
地代	422,000	743,870	△ 321,870	
資産売却差額	(170,000)	(170,000)	(0)	
有価証券売却差額	170,000	170,000	0	
事業収入	(135,189,896)	(159,037,296)	(△ 23,847,400)	
補助活動収入	116,948,896	145,016,296	△ 28,067,400	
受託事業収入	8,600,000	3,600,000	5,000,000	
公開講座収入	8,279,000	8,579,000	△ 300,000	
免許状更新講習料収入	1,362,000	1,842,000	△ 480,000	
雑収入	(160,275,843)	(160,496,926)	(△ 221,083)	
私立大学退職金財団交付金	126,257,624	127,917,924	△ 1,660,300	
広島県私学振興財団等交付金	19,118,980	21,145,832	△ 2,026,852	
研究関連収入	720,000	813,000	△ 93,000	
損害保険金	5,943,412	5,943,412	0	
退職給与引当金戻入額	2,000,000	0	2,000,000	
その他の雑収入	6,235,827	4,676,758	1,559,069	
帰属収入合計	2,605,043,381	2,595,767,976	9,275,405	
基本金組入額合計	△ 217,906,252	△ 122,540,777	△ 95,365,475	
消費収入の部合計	2,387,137,129	2,473,227,199	△ 86,090,070	

(単位 円)			
消費支出の部	予 算	決 算	差 異
科 目			
人件費	(1,600,898,497)	(1,584,620,779)	(16,277,718)
教員人件費	1,119,650,104	1,095,480,813	24,169,291
職員人件費	289,577,265	292,429,474	△ 2,852,209
役員報酬	19,500,000	23,413,745	△ 3,913,745
退職金	46,083,726	61,578,725	△ 15,494,999
退職給与引当金繰入額	126,087,402	111,718,022	14,369,380
教育研究経費	(711,794,051)	(695,458,260)	(16,335,791)
旅費交通費	68,566,753	67,999,494	567,259
福利費	170,000	159,950	10,050
消耗品費	75,586,902	78,219,861	△ 2,632,959
燃料費	1,165,851	835,813	330,038
印刷製本費	19,840,901	15,763,042	4,077,859
光熱水費	68,166,603	66,551,067	1,615,536
修繕費	30,980,032	40,888,829	△ 9,908,797
通信運搬費	11,054,418	9,064,610	1,989,808
保険料	4,502,482	4,830,587	△ 328,105
公租公課	796,086	418,619	377,467
負担金	27,874,556	30,340,881	△ 2,466,325
会議費	333,652	327,824	5,828
習字費	91,051,911	89,115,727	1,936,184
保健衛生費	15,421,214	12,178,042	3,243,172
賃借料	28,578,101	11,793,252	16,784,849
講師謝礼	4,813,054	4,349,675	463,379
海外研修費	2,591,274	1,298,374	1,292,900
減価償却額	249,521,376	249,707,156	△ 185,780
雑費	10,128,885	10,965,457	△ 836,572
建物除却費	650,000	650,000	0
管理経費	(289,762,115)	(261,195,814)	(28,566,301)
報償費	8,575,555	5,446,261	3,129,294
旅費交通費	10,403,049	9,275,265	1,127,784
交際費	2,857,021	1,356,466	1,500,555
福利費	2,787,992	4,169,342	△ 1,381,350
消耗品費	18,147,624	12,939,996	5,207,628
燃料費	327,974	0	327,974
印刷製本費	24,264,392	20,083,368	4,181,024
光熱水費	577,247	904,013	△ 326,766
修繕費	5,666,374	4,539,516	1,126,858
通信運搬費	5,727,879	4,238,778	1,489,101
保険料	338,010	145,775	192,235
公租公課	7,251,954	3,641,781	3,610,173
負担金	24,232,834	19,137,503	5,095,331
会議費	94,359	50,370	43,989
広告費	61,844,836	58,768,905	3,075,931
保健衛生費	160,033	303,367	△ 143,334
賃借料	8,656,846	4,938,861	3,717,985
講師謝礼	22,222	0	22,222
雑費	1,155,925	1,238,121	△ 82,196
補助活動収入原価	87,796,383	91,139,467	△ 3,343,084
減価償却額	18,753,606	18,758,659	△ 5,053
私立大学等経常費補助金返還金	120,000	120,000	0
借入金等利息	(2,394,714)	(2,394,714)	(0)
借入金利息	2,394,714	2,394,714	0
資産処分差額	(1,600,000)	(1,148,018)	(451,982)
不動産処分差額	400,000	1	399,999
動産除却差額	1,200,000	1,148,017	51,983
[予備費]	(1,104,248)		23,895,752
消費支出の部合計	2,630,345,129	2,544,817,585	85,527,544
当年度消費支出超過額	243,208,000	71,590,386	
前年度繰越消費支出超過額	5,826,885,296	5,826,885,296	

(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
基本金取崩額	(0)	(921,060)	
基本金取崩額	0	921,060	
翌年度繰越消費支出超過額	6,070,093,296	5,897,554,622	

(3) 消費収支経年比較表

(単位：百万円)

科 目	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	前年度比
学生生徒等納付金	1,536	1,508	1,614	1,606	1,683	77
手数料	29	32	31	34	30	△4
寄付金	3	17	5	4	19	15
補助金	476	480	470	457	536	79
資産運用収入	12	10	9	10	8	△2
資産売却差額	0	0	0	0	0	0
事業収入	127	121	127	126	159	33
雑収入	151	106	51	37	160	123
帰属収入計	2,334	2,274	2,307	2,272	2,596	324
基本金組入額計	△85	△285	△564	△161	△123	38
消費収入の部計	2,249	1,989	1,743	2,111	2,473	362
人件費	1,357	1,493	1,356	1,472	1,585	113
教育研究経費	831	700	638	684	695	11
管理経費	231	278	238	240	261	21
借入金等利息	4	3	3	3	2	△1
資産処分差額	1	4	1	1	1	0
徴収不能額	0	1	1	1	0	△1
消費支出の部計	2,424	2,479	2,237	2,401	2,545	144
消費支出超過額	175	490	494	290	72	△218


監 事 監 査 報 告 書

平成 26 年 5 月 29 日

学校法人武田学園
理事会 様
評議員会 様

学校法人武田学園

監事

久保田宏樹 

監事

友廣和行 

私たちは、学校法人武田学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人武田学園寄附行為第 16 条の規定に基づき、学校法人武田学園の平成 25 年度(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)の業務並びに財産の状況について監査した。

私たちは監査に当たり、理事会及び評議員に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決済書類を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人武田学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務または財産に関し不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上